

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都市議員 **です!**

発行：2019年3月10日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



みなさんの声をぶつけて徹底論戦!!

西野市議が3月京都市議会で代表質問に立ちました



2月19日から始まった予算議会の代表質問が25日、26日に行われました。西野市議は日

本共産党市会議員団を代表して、市長に質問しました。

最初に10年前に高さ規制を強化して、のっぽビルの建設から京都の街並みを守ってきた**新景観政策**を抜け穴だらけにして、規制を緩和するが計画されている問題を取り上げました。高さ規制の緩和と市長が許可すれば審議会を開く必要がなくなるという緩和は断念すべきと質しました。

また、国民健康保険料について、全国知事会や市長会も国に求めている「国があと1兆円出して、国保にしかない均等割り平等割の廃止」は日本共産党の提案と同じ立場だとして、まずは市が均等割りの軽減策を実施して**高すぎる国保料の値下げ**をすべきと質しました。また、敬老乗車証の改悪断念や**小栗栖大岩山の恒久対策**と二度と同じ事態を起こさないように、市の条例と法の制定を求めました。また、**市営住宅**の住環境改善や**桃山南学区への公共交通の実現**と、**旧東部クリーンセンター跡地**について、民間への売却を断念し住民の声を生かした活用を質しました。

前向きな答弁はほとんどありませんでしたが、否定することもできない状況があります。市民の皆さんの声が届く市政をつくるために、更に頑張る必要を感じました。

地域の願い実現へ、みなさんと力あわせてしっかり動きます!!

いのち・くらし まもる拠点 **ばば・西野事務所が開設されました**

2月24日に西野・馬場事務所開きが行われました。場所は醍醐総合庁舎の北東角です。当日は温かい春の日差しが降り注ぐなか、多くの皆さんが参加されました。信号待ちや通過する車からも注目され、大いに盛り上がりました。

桃山南に公共交通をと運動されている住民の方や京建労の代表者、福祉労働者の切実な訴えなどがありました。地域の皆さんからたくさんの花束と千羽鶴が送られ、感動を呼びました。

西野市議は「安倍内閣にはもう我慢できません。京都市政も同じです。今年2つの選挙があります。その一つ目が4月の統一選挙です。これまでも敬老乗車証や子どもの医療費、自衛隊に若者の名簿を渡す問題などで、京都市政を動かしてきました。この事務所を政治を変える拠点にして頑張ります。お力をお貸しください」と訴えました。



市政報告・予算要求懇談会を開催

日本共産党市会議員団は、公表された来年度の市予算の報告と予算組み替え案の説明をし、市民の皆さんの声を聴くために懇談会を開きました。



全会計の合計は1兆7223億円に上る予算ですが、無駄な予算や消費税関連の議案が多数になっています。また、介護保険の認定に関わってきた嘱託職員130人もの雇止めが予定されています。2兆円規模の北陸新幹線や1200億円規模の堀川地下トンネルは国の事業であっても市の負担は膨大ですから、中止して、子どもの医療費補助の拡大や温かい全員制の中学校給食、介護保険料や国保料の引き下げに等への組み替えが必要です。